



6次産業化で結城の魅力を発信！



2019
11
Nov
広報結城
No.698



総合防災訓練で地域の防災力を高めよう！

11月24日（日）午前9時から、市民文化センターアクロス、同駐車場のメイン会場とサテライト会場の絹川小学校、新福寺北街区公園にて「結城市総合防災訓練」（第13回防災広場）を開催します。

この訓練では、大地震発生を想定し、行政や関係機関・団体などが一体となり、災害対策本部設置、避難誘導、被害状況把握、広報通信訓練などを行います。

また、市民参加型の応急救護訓練や給食給水訓練などが体験できます。

そのほか、自衛隊、消防、警察車両の展示やアクロス屋上、倒壊建物からの本格的な救助救出訓練など見どころもたくさんありますので、ご家族や友人もお誘いあわせのうえ、ぜひ会場へお越しください！

【訓練予定】

開始時間	種 目
午前9時	●結城市で大地震発生
午前9時30分～ 午前10時	●災害対策本部設置訓練 ●被害状況把握訓練【体験型】 ●避難誘導訓練【体験型】 ●広報通信訓練 ●災害ボランティアセンター設置訓練
午前10時～ 午前11時	●避難所体験訓練【体験型】 ●応急救護訓練【体験型】 ●給食給水訓練【体験型】 ●防災広場【体験型】
午前11時～ 午前11時30分	●救助救出訓練
午前11時40分	●終了式



※【体験型】は一般の方も参加できます。※訓練種目が変更になる場合があります。

下向きのライト走行に潜む危険！

運転者はこまめに**ライトの上下切り替え**を



時速 60km で走行した場合の停止距離は約 40m（※）で、歩行者がライトに照らされてからでは、事故回避が困難となります。

※警察庁資料より

夜間の横断歩行者事故が多い要因

- ドライバーからは、昼間に比べ見通しが悪くなり、歩行者からはライトの光だけで車の位置を判断するため、距離感を誤りやすい。
- 昼間に比べ交通量が減少するため、ドライバーが速度を出し過ぎる傾向があり、歩行者に気付いても避けられない。
- 車のヘッドライトの照射距離は、左側に比べ右側は短いため、右からの横断歩行者の発見が遅れる傾向がある。

夜間運転するときは…

- 先行車や対向車がない場合は、ライトを上向きに切り替え、視界を確保する。
- 付近が暗くなり始めたらライトを点灯し、歩行者やほかの通行車両へ自分の車が近づいていることを積極的に知らせる。
- 見通しが悪い場所では、十分にスピードを落とす。
- 「道路を横断する歩行者がいるかもしれない」と、常に危険を予測した「かもしれない」運転を心がけ、緊張感を持って運転する。

年末にかけて多発傾向、夜間運転時は特に慎重に！

問 市防災安全課 | ☎ 34-0411

